

## 18 「パッケージツアーガイドの現況と問題点」

ニュースレター (メルマガ・エコガイドジャーナルより厳選・抜粋レポート) 2012

・ ・ 特集パッケージツアー ・ ・

### ● 現況

現在国内ガイドの90%以上は「旅行会社が主宰するいわゆる。パッケージツアー」のガイド業務を担当している。それは旅行会社のツアーにおいて安全管理の問題やサービス面（道案内・自然解説などの参加者の需要や欲求）があるからである。又、旅行会社においては社会にニーズに答えるように「より付加価値がある商品」として、販売し集客しているのが現状である。

### ● 将来性

今後益々、その需要は増えると思われ、安全を管理してもらいながら山頂まで導くためのガイド業務から、「より楽しく登山やハイキング」を行うためのガイド業務への職能の進化がさらに進むと予想される。さらに過剰サービスの慣れにより「山頂に導くのは当たり前」という認識が増加し、「いかに楽しく楽しみながら登山やエコツアーを体験できるかが」カギとなる。高齢化や健康志向へ進むに当たり、ツアー参加者は全国的に増加傾向にある又「環境教育」や「エコ意識」の重要性などにより、環境省や国土交通省では将来的に「ガイド不足」の傾向であるという発表がある。「旅行会社」においてもそのマーケットに合わせて、ガイドや旅行商品を企画・販売するという予想が出来る

☆パッケージツアーのガイド業務においては益々増加する理由

- 1、激戦区（尾瀬・上高地・屋久島）などではガイド付きのツアーがすでに主流となっている
- 2、危険度の高い登山においては、全国的に遭難やアクシデント数が増加し、毎年たくさんの方が命を落としている
- 3、登山者やハイカー人口は今後益々高齢化し、「ガイドの助けが必要」とされる
- 4、より詳しくしりたい、学びたいという意識が増える
- 5、危険度の少ないハイキングや古道歩きにおいても「ガイド付き」が当たり前の時代となる。
- 6、長期的な経済の低迷により、より価格の安い商品としても「パッケージツアー」は魅力的である

**結論 「パッケージツアー」は成長産業である**

**「パッケージツアーのガイド」は不足していく傾向である**